

新潟市暮らしの点検・評価アドバイザー会議におけるご意見への対応等

事業名：新潟シティマラソン開催事業（担当：スポーツ振興課）

No.	ご意見	対応等
1	制限時間 5 時間は厳しい。高齢者が出場しづらいので、延ばせないか。	平成 29 年度の新コース策定とあわせ、制限時間の延長が実現するよう関係団体との協議を進めます。
2	種別「60 歳以上」を「60 歳代」と「70 歳以上」と分けた方が良い。	年代別に 1 位から 3 位までを表彰している大会が一般的である中、当大会は 1 位から 10 位までの合計 240 人を表彰しています。 新たに 70 歳代の部門を設けることになると、表彰数の調整が必要となりますので、実行委員会で協議します。
3	エントリーが先着順とのことだが、交流人口増加も目的なのであれば、県外や海外の参加者枠の設定を検討してはどうか。	当大会は、市民の健康増進が主目的であるため、市民の参加者確保が重要であり、県外からの参加者も全体の約 20 パーセントを超えているため、一定の割合は確保していると認識しています。 他都市マラソンの例を見ても、市民や県民の優先枠はあるものの、県外や海外の参加者枠を設けている大会は見られません。
4	参加料は参加者にとって安くない。参加賞を豪華にするなどインパクトを与えられると良い。	1 万人を超えるマラソンの参加料は、概ね 1 万円を超えており、当大会の参加料は他大会より下回っています。 参加賞については、その範囲の中で選定しています。
5	みんなの大会にするため、募金サイトを作ってはどうか。目標の金額を達成すれば「ラーメンの屋台が出せる」や「参加賞のタオルが作れる」など具体的に金額の目安を示して実施してはどうか。	チャリティー枠を設定している他都市のマラソン大会などを参考に検討します。
6	ボランティアの人を楽しませる工夫があると良い。頼まれて参加しても、結果として「楽しかった」となれば、広く市民を巻き込むことができる。	マラソンに参加しない市民の皆さまにもボランティアや応援で盛り上がっていただけるよう、魅力あるコース設定や大会運営を目指していきます。
7	参加しない市民にも、楽しみがあると良い。「通行止め」にするだけでなく、中継地点で市（いち）が立つ、など。	

■ その他のご意見

- ・フードの魅力がネットで話題になり、人気の大会もある。現在、提供されている食品以外にも、工夫してほしい。
- ・移住コンシェルジュのブースを設置してはどうか。走ってみて新潟の魅力を知り、住んでみたいと思ってもらえば、定住人口増加にも繋がる。
- ・ネットで新潟シティマラソンの歴史や苦労話などを紹介するなど、知ってもらうことで、一部の人のマラソン大会から市民に近づくと思う。
- ・他部署と一体となって総展開すれば、都市型への移行も可能だと思う。
- ・都市型を目指すのであれば、記録が出しやすいコース作りで特徴を出すようなことも検討すると良いと思う。